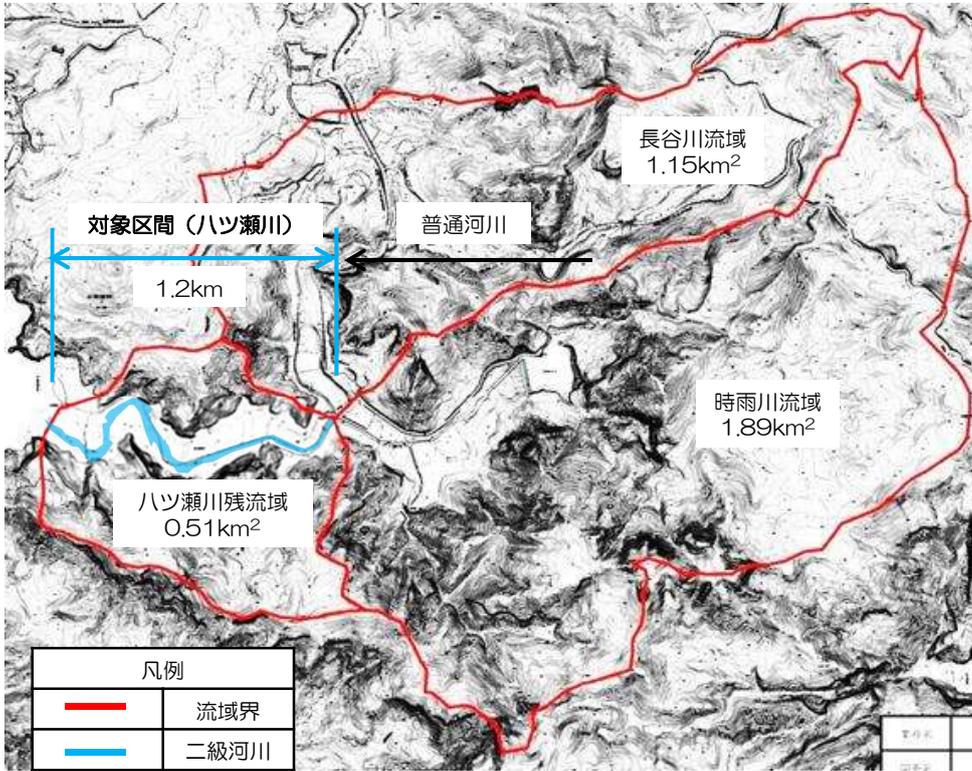


ハツ瀬川河川整備計画の概要

ハツ瀬川とは

ハツ瀬川は、時雨山とその周辺を源として、北袋沢地区を流下し小港に注ぐ、流域面積約3.55km²、河川延長約1.2kmの二級河川です。ハツ瀬川に流入する支川には、長谷地区に源を発し小曲地区を流下する長谷川、時雨山付近に源を発し北袋沢地区を流下する時雨川があります。

【ハツ瀬川流域】



【小笠原諸島・父島】



【現況写真】



流域の特徴

●河川区間の活用

右岸に公園が整備されており、逢瀬橋下流から約700mの区間で設置された遊歩道とともに、住民の憩いの場及び観光資源として活用されています。

●豊かな自然

左岸山林と河口部（小港海岸）、下流右岸山林が国立公園（昭和47年10月16日指定）特別地域に指定されており、平成23年6月には、河口部の小港海岸一帯が世界自然遺産に登録されました。

●多様な生態系

河川にはオガサワラヨシノボリやオオウナギなどの魚類のほか、植生の繁茂する洲には、オガサワラクロベンケイガニやヒライソモドキなどの甲殻類の生息も確認されています。

河川整備の目標

八ツ瀬川は世界的にも貴重な自然を有する河川であることを考慮し、治水上の安全性を確保するとともに、地域住民と協働して河川環境の保全に努めた川づくりを進めていきます。

河川整備計画の対象と期間

- 対象区間
 - ・八ツ瀬川（河口～長谷川・時雨川合流点）
- 計画対象期間
 - ・おおむね30年間



長谷川・時雨川合流点

河川整備計画の目標

●計画の基本理念

「人々の生活と調和しつつ、貴重な自然が後生においても保全される川をめざして」

●洪水・高潮対策

- ・洪水：年超過確率1/10の降雨に対して安全な計画
- ・高潮：計画高潮位（A.P.+2.184m：朔望平均満潮位+10年確率潮位偏差）に対して安全な計画
- ・津波：河岸の安定性を保持する
警戒避難体制及び情報連絡体制の整備等のソフト対策

●流水の正常な機能の維持

流水の正常な機能を維持するため必要な流量の把握に努めます。

●河川環境の整備

自然環境の保全・再生を目指し、河川景観・親水空間の保全・創出に努めます。

河川環境の整備と保全

●洪水・高潮に対する河川工事

現況河道で概ね安全に流下させることが可能



河道工事は実施せず、現況施設の維持管理を行う（護岸等の河川管理施設の巡視・点検）



必要な補修・更新等（固有種の生息域の保護、外来種拡散に配慮）

●河川環境の整備と保全

生物の生息・生育・繁殖環境上支障のない範囲で、良好な河川景観・親水空間を創出するなど、河川環境の向上を図ります。

特に水質においては、NPOや地元住民等と連携しながら、水質の把握及び必要に応じた改善に努めていきます。